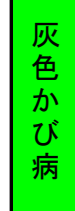


もっと安心農産物ミニトマト防除暦（令和5年版 土耕栽培用）

月	旬	作業	薬剤名	ハチ 日数	濃度・使用量	出荷前 日数	対象病害虫	
7月	中旬	播種・育苗 土壌消毒 (消毒剤は 1剤を選択) 土壌還元消毒	D-D・テロン		15~20ℓ/10a	作付け1 0~15 日前 定植21日前	ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ	
			ソイリン・ダブルストッパー		30L/10a(1穴当り3ml)		ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ・萎凋病	
			クロールピクリン・クロピクフロー		1穴当り2~3ml		20~30ℓ/10a	ネキリムシ・センチュウ類
			バスアミド微粒剤		200~300g/立方m		苗立枯病(リゾクニア菌)	
			フスマ		1000kg/10a		ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ・萎凋病	
8月	上旬	ベット作成	ネマキック粒剤	14↑	15~20kg/10a	定植前	ネコブセンチュウ	
	中旬	定植	ネマトリンエース粒剤					
9月	上旬	マルハナバ チ導入	スタークル粒剤	14↑	2g/株(植穴処理)	定植時	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類	
			マッチ乳剤	1	2000~3000	前日	ハスモンヨトウ・コナジラミ類・トマトサビダニ	
	中旬		ダコニール1000	1	1000	前日	葉かび病	
			アフアーム乳剤	2	2000	前日	ハモグリバエ・オオタバコガ・トマトサビダニ	
	下旬		ダントツ水溶剤	15↑	2000~4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
			スタークル粒剤	14↑	2g/株(株本処理)	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類	
			グレーシア乳剤	1	2000倍	前日	アザミウマ類・オオタバコガ・コナジラミ類・トマトサビダニ・トマトハモグリバエ・ハスモンヨトウ	
			ベストガード水溶剤	10	1000~2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
			アミスターオプティフロアブル	1	1000	前日	葉かび病・疫病・灰色かび病	
			アフェットフロアブル	1	2000	前日	葉かび病・灰色かび病・菌核病	
10月	上旬	収穫開始	☆エコピタ液剤	0	100~200	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病	
	中旬	ホリバー	モスピラン水溶剤	3	2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
	下旬	ラノテープ	ディアナSC	1	2500~5000	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ	
11月	上旬		バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
			☆エコピタ液剤	0	100~200	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病	
	中旬		ランマンフロアブル	0	1000~2000	前日	疫病	
			ノーモルト乳剤	1	2000	前日	コナジラミ類・ハスモンヨトウ	
	下旬		ファンタジスタ顆粒水和剤	1	2000~3000	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病	
12月	上旬		ガードホープ液剤	1	4000	前日	ネコブセンチュウ・トマトサビダニ	
			ロブラール水和剤	1	1000~1500	前日	灰色かび病・輪紋病・斑点病	
	中旬		ベトファイター顆粒水和剤	0	2000	前日	疫病	
			バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
			ゲッター水和剤	1	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病	
下旬		コロマイト乳剤	1	1500	前日	コナジラミ類・ハモグリバエ類・トマトサビダニ		
1月	上旬		ピクシオDF		2000	前日	灰色かび病	
			☆エコピタ液剤	0	100~200	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病	
			ゲッター水和剤	1	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病	
2月	上旬		モスピラン水溶剤	1	2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
	下旬	ホリバー	フェスティバルC水和剤		600~800	前日	疫病	
3月	上旬		ピクシオDF		2000	前日	灰色かび病	
	中旬		☆ハーモメイト水溶剤	0	800~1000	前日	うどんこ病	
	下旬		ディアナSC	1	2500~5000	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ	
4月	上旬		レーバスフロアブル	1	2000	前日	疫病	
	中旬		バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類	
	下旬		☆エコピタ液剤	0	100~200	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病	
5月	上旬		ノーモルト乳剤	1	2000	前日	コナジラミ類・ハスモンヨトウ	
	中旬		ベストガード水溶剤	10	1000~2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類	
	下旬		☆エコピタ液剤	0	100~200	前日	コナジラミ類・アブラムシ類・ハダニ類・うどんこ病	
6月	上旬		スタークル顆粒水溶剤	14↑	2000~3000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ	



病害虫の発生状況により下記の薬剤より選択。 **※注意: 化学成分使用回数が40回を超えないよう十分注意すること。**

コナジラミ類: スタークル顆粒水溶剤(3000倍・前日・2回)、チェス顆粒水和剤(5000倍・前日・3回)、ウララDF(2000倍・前日・3回)、
 アドマイヤー顆粒水和剤(10000倍・前日・2回)、アニキ乳剤(1000~2000倍・前日・3回)、コルト顆粒水和剤(4000倍・前日・3回)

ハモグリバエ: プレオフロアブル(1000倍・前日・2回)、トリガード液剤(1000倍・前日・2回)、カスケード乳剤(2000~4000倍・前日・2回)

ヨトウムシ類: フェニックス顆粒水和剤(2000倍・前日・2回)、☆エスマルクDF(1000倍・前日・制限なし)、☆デルフィン顆粒水和剤(1000倍・前日・制限なし)

オオタバコガ: プレバソフロアブル(2000倍・前日・3回)、フェニックス顆粒水和剤(2000倍~4000倍・前日・2回)

アブラムシ類: 粘着くん液剤(100倍・前日・制限なし)

アザミウマ類: マッチ乳剤《2000~3000倍・前日・2回(ミカンキイロ)》、コテツフロアブル(2000倍・前日・3回)、アーデント水和剤(1000倍・前日・2回)

ハダニ類: マイトコーネフロアブル(1000倍・前日・1回)、☆アカリタッチ乳剤(1000~3000倍・前日・制限なし)、サフオイル乳剤(300倍・前日・制限なし)

葉かび病: 《トリフミン水和剤(3000倍・前日・5回)、トリフミンジェット(400㎡当たり50g・前日・5回)【パンチョと合わせて5回】》、ベルケート水和剤(6000倍・前日・2回)
 ホライズンドライフロアブル(2500倍・前日・3回)、サンヨール(500倍・前日・4回)、☆カリグリーン(800倍・前日・制限なし)

うどんこ病: パンチョTF顆粒水和剤(2000倍・前日・2回)

灰色かび病: ☆ポトキラー水和剤(ダクト内投入10~15g/10a/日・発病前~発病初期・制限なし)、トップジンM水和剤(1500~2000倍・前日・5回)、
 ロブラールくん煙剤(300~400㎡当たり・100g・前日・3回以内)、フルピカフロアブル(2000倍・前日・4回)、ベンレート水和剤(2000倍・前日・3回)

軟腐病: ☆コサイドDF(1000倍・制限なし・制限なし)

疫病: ☆Zボルドー(500倍・制限なし・制限なし)、ペンコゼフロアブル(1000倍・前日・2回)、ライメイフロアブル(2000倍・前日・4回)、
 プロポーズ顆粒水和剤(1500倍・前日・2回)、レーバスフロアブル(2000倍・前日・3回)

◎ ファンタジスタ顆粒水和剤(灰色かび病・菌核病・葉かび病・2000~3000倍・3回以内・前日まで) 予防効果に加えて病斑進展阻止効果を有します。

※黄色粘着板(ホリバー等)《10a当り200枚》を必ず使用。

※☆印は天然系農薬で化学合成農薬ではありません。